

第 55 回インナーゼミナール大会

ゼミ名	高ゼミⅡ	チーム名	留学生お助け隊
タイトル	外国人留学生の就活問題		
テーマ群	d)国際経済		
メンバー	石橋 玲瑠、太田美子、時以諾、畠羽依、福谷心羽		
研究計画 内容	「研究の背景とその目的」 2008 年、日本政府は 2020 年を目途に留学生を 30 万人に拡大する計画を打ち出した。実際に 2019 年に政策は達成して、コロナ禍の影響で減少傾向にあったが、2033 年までに 40 万人に拡大する計画を新しく打ち出した。外国人留学生のうち日本国内での就職を希望しているのは約 65%ほどだ。しかし、実際には就職率は 35%とされている。外国人留学生の就職課題としては主に 3 つ挙げられる。この課題に対しての政府の政策と私たちが考えるサポート案を提案することで日本国内の留学生の就職率を上げる。 「研究内容」 まず、政府の統計や関連資料を基に留学生の就職状況を整理し、その上で独自の研究とし、実際に日本でビザを取得し働かれている外国人労働者の方にインタビューを行い、実際の声を聞いた。外国人留学生の就職課題として 1 つ目に日本で就職する際のビザの問題、2 つ目に言語と文化の違いによる壁、3 つ目に日本と外国の就活制度の違いである。この 3 つの課題に対して私たちが改善することのできるサポート案を提案する。 「期待される成果」 日本で就職を希望している留学生の就職率を上げることで、少子高齢化という問題で労働力人口の減少が進む日本で、長期的に働くことのできる外国人労働者を増やすことにより労働力人口の補填ができる。本研究を通じて、日本で就職を希望する外国人留学生の就職率を向上させるための実践的な提案を行うことができ、提案した支援案が大学や企業、政府の協力により実施されれば課題の解決につながることを期待される。 「参考文献」 厚生労働省 https://www.mext.go.jp/content/20240704-mxt_kotokoku02-000036923-08.pdf 文部科学省 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_17487.html?utm_source=chatgpt.com		